



学校だより 11月号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

「心も体も病気のプロジェクト」

～「よりよい自分、よりよい仲間」をめざして～

学校長 副島江理子

霜降の候となり、吹く風も冷たくなってきましたが、子どもたちは元気に学校生活を送っています。

さて、昨年10月19日はたくさんの地域・保護者の皆様に応援をいただきながら「緑園東小学校30周年記念式典」が開催された日でした。まさか一年後の世の中がこのようになっているとは誰も想像もしていませんでした。それでも、10月18日に行われた運動会では、保護者の皆様のご理解とあたたかいご声援のもと、子ども一人ひとりが全力でがんばり、大きく輝きました。今年度初めて全校児童で校庭に集まり、子どもたちにとってはかけがえのない時間となりました。地域の方々にはご参観をいただけなかったにも拘わらず、「運動会ができてよかったですね。」等の優しいお声をたくさんかけていただきました。

保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。

運動会だけではなく、今年度は制約が多い中でも、子どもたちの今まで培ってきた力が発揮されている場面を多く見かけます。先日、今年度初めての「代表委員会」が開かれました。全員が前を向いての話し合いでしたが、活発な意見が交わされました。また、違う学年の友だちの思いを汲み取り、フォローをするあたたかい気遣いも見られました。議題は「心も体も病気のプロジェクト」についてです。本校は、長年に渡って「けが0プロジェクト」に取り組んできました。学校でのけがが多かった実態から、子どもたち自身が活動を工夫して、けがをなくしていこうと取り組んできました。長年に渡るこの取組の過程で、8つの委員会が自分たちの委員会の特性を生かして「けがをなくす活動」を工夫してきました。その取組が発展して「けが0プロジェクト」以外にも、各委員会が学校をよりよくするために、自分たちにできる活動を考えるようになりました。また、全校集会の場でわかりやすくまとめて発表することにも取り組んできました。

「けが0プロジェクト」の内容は、けがの原因を考えるうちに「心」の問題に行き当たり、ここ数年は「自分の気持ちも相手の気持ちも大切にしよう」という取組に発展しました。このような継続した取組が子どもたちの「主体性」や「協働性」を少しずつ育み、今年度の状況下でも各学年での生き生きした活動につながっているのだと感じています。

さて、11月は「読書月間」です。本校が長年取り組んできたことの一つに「学校図書館の活用」があります。今年度は、各学年で利用時間も制限されていますが、今年も学校図書館は、子どもたち一人ひとりの「豊かな学びの場」であり、だれもが思い思いに過ごせる「一人ひとりの居場所」です。図書委員会の子どもたちの創意工夫により、今年の「読書月間」もいろいろな取組が始まっています。

このように、残りの半年は、子どもたち自身の思いや発案による学習や活動がさらに豊かに展開されていくことを願っています。子どもたちは、感染症予防に気を付けながらも、日々の学校生活や運動会等の行事で実感した自分の成長や自信を糧に、次のステップを考えています。この状況下でも常に前向きに「よりよい自分」「よりよい仲間」をめざす緑園東小学校の子どもたちに、心からエールを送りたいと思います。

保護者、地域の皆様方には、引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。